

筑波大学附属久里浜特別支援学校

地域広報紙

のびのび

平成 27 年度 第 3 号 (2016.2.26 発行)
〒 239-0841
神奈川県横須賀市野比 5 丁目 1 番 2 号
TEL : 046 (848) 3441
FAX : 046 (848) 3740
<http://www.kurihama.tsukuba.ac.jp>

学校公開を開催

11月7日(土)、本校では学校公開を開催しました。学校公開は、本校が対象としている知的障害を伴う自閉症児の特別支援教育について、理解促進を図る目的で行っています。当日は近隣の方々をはじめ療育機関や学校関係者等、約150名の参加があり、普段目にする事のない授業の様子を熱心に見学されていました。近隣の地域からいらした方からは、「自閉症といっても色々なお子さんがいるのですね。」「子供たちが笑顔で楽しそうでした。」との意見が聞かれました。



特別支援学校体育連盟 第23回駅伝・ランニング大会

1月23日(土)日産フィールド小机陸上競技場にて、神奈川県特別支援学校体育連盟第23回駅伝・ランニング大会が実施されました。数日前から当日の降雪予報が出ており、朝から寒い曇り空の下での開催となりましたが、本校からは6年生1名、5年生2名、2年生1名、計4名が寒さを物ともせず、元気に参加しました。本校卒業生と競い合いながらゴールした児童、初参加にして入賞した児童、完走し「また参加したい」と言っている児童、数回の参加を経て走る楽しさに気付いたかのような力強い走りを見せた児童、みんなそれぞれ輝いていました。



久里浜特別支援学校とは？



筑波大学に11ある附属学校の一つで、知的障害と自閉症を併せ有する子供の教育を行っています。幼児児童50余名一人一人の「良さや可能性を伸ばす教育」を追求しています。また、筑波大学や隣接する国立特別支援教育総合研究所とともに、全国の教員に研修の機会を提供しています。入学相談や教育相談も随時受け付けています。詳細は筑波大学附属久里浜特別支援学校ホームページ <http://www.kurihama.tsukuba.ac.jp> をご覧下さい。

修学旅行

『そりゃ、そりゃ、ほんとに楽しみだ〜♪』これは、修学旅行の歌の1フレーズです。訪問先と活動内容を歌詞にして、みんなで毎朝、歌って気持ちを高めてきました。今年は、一日目にキッザニア東京、二日目に東京ディズニーランドへ行ってきました。キッザニア東京では男の子たちは、憧れの消防士になったり、女の子たちは、ネイル体験をして女子力をアップしたりしました。東京ディズニーランドは、あいにくの小雨でしたが、そのおかげで、金曜日だったにもかかわらず、人が少なく、児童それぞれが希望するアトラクションを楽しむことができました。そのアトラクションの中に、スペースマウンテンといったジェットコースターもあり、同乗する教師は正直、生きた心地はしませんでした。でも児童たちは大満足だったようです。冒頭の歌詞のとおり、思う存分楽しんだ二日間でした。



地域の皆様へ -自閉症について- ~コミュニケーション編~

ある日の昼下がり、各駅停車の電車に一人の青年が乗ってきました。彼は、乗車すると素早く四人掛けのボックス席通路に至りました。ボックス席に座っていたサラリーマン風の男性4人は怪訝そうに顔を上げました。見れば、青年は座席を指差し、「う、う」と何かを訴えています。「何?」と、四人の内の一人が彼に問いかけると、青年は指差しと発声を繰り返します。通路側のもう一人の乗客が、「ここに座りたいの?」と青年に尋ね、席を譲ろうとしました。しかし青年は、席に座ろうとせず、「う、う」と声を大きくして、指差しを続けます。「窓際に座りたいのか?」今度は、窓側の乗客が青年に聞きました。「ここに座る?」と続けると、青年はようやく頷きました。彼のために席を替えた4人の男性は、「そこは彼の特等席なんだろうな」とか「窓際は、景色も電車も見えるからな」と青年の満足した様子を見ながら笑顔で会話を続けていました。

自閉症のある人は、話し言葉以外のコミュニケーション手段で自らを表現することがあります。この青年の場合、話し言葉の代わりに、指差しと発声で周囲の人に自らコミュニケーションをとり、理解を得ることができました。

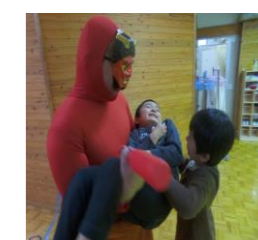
自閉症啓発デー2015 in 横須賀

12月5日(土)に「自閉症の世界を知ろうよ~ちいさなつながりをひろげよう~」というテーマで開催しました。当日は、150名の来場者があり、映画上映「シンプル・シモン」や講演会「自閉症のある方からのメッセージ」等を行いました。参加者からは、「映画や講義、当事者の話が分かりやすかった。」「人柄や話が素敵で相手を受け入れて、誠実に接することが大事だとつくづく感じました。」「今後も続けてほしい。」との声をたくさんいただきました。



寄宿舎 節分会

寄宿舎では、伝統的な季節の行事を子ども達が肌で感じ、貴重な経験になるようにと願いを込めながら計画しています。2月1日(月)には、節分会を行いました。子供たちが節分の由来を聞き終えると、廊下から「わあー!」と鬼が現れました。そこで、みんなで升を片手に豆まきを始め、見事に鬼を退治!最後は、鬼が「ごめんさい」と、おわびに美味しいおやつを持ってきてくれました。子ども達は大満足。楽しい節分となりました。



お知らせ

卒業式について



平成27年度保育修了・卒業証書授与式を3月16日(水)に執り行います。今年度は、幼稚部6名、小学部6名の幼児児童が保育修了・卒業を迎えます。

小学部の児童は全員が、幼稚部の幼児は数名が本校を巣立ち地域の学校へ進みます。今までとは異なる環境で、より一層一人一人の良さを発揮し、活躍してくれることを願っています。地域の皆様、今後とも幼児児童の成長を温かく見守り、応援して頂きますよう、お願いいたします。

